

法人理念		地域住民の皆様が最期の時まで笑顔で過ごせる居場所づくりに邁進して参ります。		
支援方針		「住み慣れた地域で暮らしたい」その思いを支援します。		
営業時間		9時 00分から 17時 00分まで	送迎実施 の有無	あり 希望時 なし
支援内容				
本人支援	健康・生活	健康管理、医療機器の管理、薬の管理、食事、経管栄養・胃瘻管理、整容、排泄、保清、睡眠に関する計画を実施。		
	運動・感覚	理学・作業・言語療法士が中心となり姿勢・移動・遊び・作業に関する計画を実施。		
	認知・行動	視覚・聴覚・触覚等の感覚を十分活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促す支援を行う。表情からの意思確認。職員や利用者とは触れ合うことで、環境から情報を取得し行動に繋げるという一連の認知過程の発達を支援する。		
	言語コミュニケーション	言語療法士を中心に非言語（身振り・指さしサイン・ジェスチャー）、言語、指示理解に関する計画を実施。		
	人間関係 社会性	人間関係の形成・集団への参加：季節行事に参加し、基本的な人との関わり・集団での活動スキルを身に着ける。		
家族支援		① 児童の発達に関する相談・助言等 ② 支援内容に関する相談・助言等 ③ 家庭生活に関する相談・助言等 ④ 集団生活に関する相談・助言等 ⑤ きょうだい児に関する相談・助言等 ⑥ 制度に関する相談・助言等 家族のニーズに応じ、①～⑥等の相談援助を家庭や事業所での対面にて実施。 延長サービス	移行支援	それぞれの個性を尊重し、特性を活かしつつ社会、組織の一員として生活できるように共生型サービス利用を継続する（障害児から者へ移行後も希望時は引き続き当事業所の共生型サービスを利用）。 学校、関係機関との連携
地域支援・地域連携		① 二か月に一回、地域の民生委員・老人会長・自治会長・家族代表とともに運営推進会議を開催し現状報告を行う。 ② 学校へ医療的ケア介入で定期的な訪問看護を利用している児童は、学校と情報交換を行う。 ③ 年に1回、児童、家族、地域住民、地域の子ども達と一緒にバーベキュー大会を開催し地域交流を図る。	職員の質の向上	管理者、児童発達支援管理責任者向け研修参加。 新卒・中途入社研修参加。 全職員向け研修 ① 虐待防止（身体拘束）に関する研修 ② 事故防止に関する研修。 ③ 感染症に関する研修。 ④ 防犯に関する研修。 ⑤ 災害に関する研修。
主な行事		季節に応じた活動（節分・ひな祭り・花見・こどもの日・七夕・ハロウィン・クリスマス会・お正月等） お誕生会、ミニコンサート、地域の文化祭への出展・参加、バーベキュー大会		